
140文字小説 その4

並木 道生

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

140文字小説 その4

【Zコード】

N7660V

【作者名】

並木 道生

【あらすじ】

ツイッターの#twnovelに投稿した話です

月が落ちる所を見に行つた事がある。海の中に大穴が開いていて遊覧船で近くまで行くんだ、月は大穴に落ちて行つたよ。半日待てば太陽が落ちてくるとの事だつたが、暑くて大変だというので辞退したんだけど。宇宙飛行士達はあの穴に飛び込んで行くんだよ、実際大した連中だね。

僕はね、蛙の産卵を見た事があるんだ、水中で雌が、ぶぶぶぶぶぶぶぶつと、卵を出して行くんだ。卵はすぐに大きくなつて、ちょうど鶏の卵と同じくらいかな、2つに割れて中から蛙が出てくる。実際に見事なもんだぜ、自然てのは凄いよ。子供にはそういうのを見せなきゃダメだよ

「さて、今日も頑張るぞー」ぐいっと空に向けて両腕を突き出し伸びをしたら、ガシッと攫まれ、そのまま雲の上に引っ張り上げられた。今は雷様の手伝いをしている。

頭に角が生えた翌日、背に翼が生えた。しばらくするとシッポが有つた。口元がムズムズするので触つてみると牙だ。手を見ると鋭い爪。私はもはや人間ではないようだ。悲嘆にくれていると背中がモゾモゾするので触るとジッパーがあつた。開けると見知らぬ人がお疲れ様ですと出てきた

ゴキブリで何か実験しようとした提案してきたので、飛行士たちはトイレに流すとか宇宙に捨てるとかを実験に仕立てようとしたが。繁殖させよとの事だったので、宇宙ステーションは地球に対して独立を宣言したのです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7660v/>

140文字小説 その4

2011年10月9日10時20分発行